

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3972400315
法人名	医療法人 一心会
事業所名	グループホーム よりあい
訪問調査日	平成 19年 11月 14日
評価確定日	平成 20年 2月 18日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3972400315		
法人名	医療法人 一心会		
事業所名	グループホーム よりあい		
所在地 (電話番号)	高知県吾川郡仁淀川町岩丸43-1 (電話) 0889-20-2332		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年11月14日	評価確定日	平成20年2月18日

## 【情報提供票より】(19年 11月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	16年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10	常勤 7人, 非常勤 3人, 常勤換算 7.195人	

### (2) 建物概要

建物形態	併設/単独○	新築/改築○
建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建ての	階 ~ 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	8,000 円	その他の経費(月額)	19,000 円
敷 金	有( 円)	○ 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日あたり 900円		

### (4) 利用者の概要(11月14日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	1 名	要介護4	3 名
要介護5	名	要支援2	0 名
年齢 平均	84 歳	最低	65 歳
		最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	安部病院・古味歯科診療所
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「よりあい」には、職員が生活歴や好みなどから役割や楽しみごとを導き出そうとする積極的な取り組みがある。閉じこもりがちな利用者を楽しみながら行える役割や日課を持ってもらい意欲を駆り立てたり、利用者にしつかりと向かい合った対応が印象深い。前回評価の改善点であった共用空間の賑わいも整理されて、程よく落ち着いた清潔感のある空間になっている。推進会議の内容も活発で、今後ますます地域に密着した事業所として機能を発揮することを期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果後に改善課題について話し合いをもち、改善シートを作成した。即改善に着手され課題の3件について改善できている[権利義務の記載洩れや計画の見直し。ポータブルトイレに覆いを掛ける)。事故報告書の再発防止策については現在尚取り組み中である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は評価の意義をよく理解しており、管理者を中心に全職員での取り組みが見られる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>事業報告は活動内容(行事など、利用者の生活状況、研修にいたるまで)を報告している。委員からは隣接地域の会場で開催する研修会への誘いや利用者や職員にとってより有益と考えられるアドバイスなどが出され、取り組みに活かされており双方向的な会の運営になっている。ただ前回の外部評価についての報告はされていない。今回からは報告し、外部の意見も取り入れ、協力いただきながら改善していくことが大切である。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>事業所から色々な方法で情報を発信し、面会が多いこともあり、不安、要望、苦情などはない。ただ家族会の発足には至っていないので家族間での話し合いの機会は少なく、些細なことでも意見を出し合えるような交流の場がない。家族会は事業所にとっても家族、本人の安心と満足に繋がる質の高いサービスを提供できる新たな情報を得られる機会でもある。早期の開催を期待する。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に入会し回覧板や町の広報等が毎月送られてくるので、地域の情報は洩れなく把握出来ている。事業所が地域住民の往来する場所にあり、散歩などの挨拶や以前からの顔馴染もあり信頼関係は構築できている。地域の祭りごとなど行事にも参加したり事業所の行事に招待するなどの交流が見られる。地域住民の協力を得た災害時の避難訓練は実施していないので早急に検討されることを期待したい。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である [開設当初からの理念だが、地域密着型サービスの内容が盛り込まれている。]		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 [申し送り時やカンファレンスでは毎日のケアの中での気付き等を含め、理念に基づく介護であったかなど話し合いをしており常に意識をもって接している。] <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 [穏やかな気分で日々その人らしく過ごすことが出来るようにとの思いを持って対応する姿勢が窺われる。]		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 [ ] <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 [回覧板などで情報を集めリサイクル活動や地域の行事に参加、清流祭りの際の手伝い(飾付けの造花作り)や保育園などの運動会に参加するなど接点をもっている。]		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 [管理者や職員は評価の意義を理解し、今回の自己評価についても全職員の意見を聞き管理者がまとめ再び職員が見直し話し合うなど全員で取り組んでいる。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 [評価後話し合いを行い、即改善可能な項目については改善している。課題については改善シートを作成し継続して取り組むことを望む。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔事業・活動報告などの後、委員から利用者へのケアへの具体的な提案があるなど、双方向的な会議であり、記録も残っている。〕 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔 〕	○	評価結果についても会議で報告し、委員の率直な意見を聞きサービスの質の改善、向上に繋げていくことを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔事業所のパンフレットを配布、町からの情報も入ってくる。事業所の行事の際に相談したり、合併の時に行政職員が事業所を見学したり、折にふれ接触の機会があり交流は深まっている。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔「よりあい便り」と「家族便り」を隔月に送付している。偶数月には写真を同封し、奇数月には担当者が近況を葉書などにしたためて送付している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔毎月1回は定期的に家族に連絡をし報告をしている。また緊急時は電話等でも対応している。〕 <input type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔事業所では金銭の管理は一切行っていない。自己管理している利用者も居られるが、その他の方の買物代金等は事業所が立替払いしている。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族会についてアンケートを採ったが「家族が高齢なので行けない」「必要ない」との意見で発足していない。意図的に家族間で意見交換ができる場の仕組みができていない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔 〕	○	家族会を設ける働きかけはしているが実現に至っていない。運営推進会議には家族も出席し、また行事の際の理解と協力はあるので、家族会開催への呼びかけを継続して行われることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔退職は少ない。本人、家族との馴染みの関係を大切に継続的に支える体制を重視している。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 〔交代時は特にコミュニケーションを優先し、スムーズに移行できるように配慮している。〕</p>		
5. 人材の育成と支援						
	10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔パート職員の研修は施設内研修のみであるが、全職員に研修機会がある。また、外部の研修は希望制としている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔報告書を全職員にコピーして渡し、申し送り時やカンファレンスの際に伝達している。〕</p>		
	11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔県内組織の宅老所・グループホーム連絡協議会に所属し研修会への参加や情報交換など出来ている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔県内の事業所に実習や見学に行ったり、職員が個人的にも交流があり意欲的な取り組みが見られる。〕</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
	12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染むよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔本人、家族、介護支援専門員、その他利用者を知る人などから把握するよう努めている。〕</p> <p><input type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔 〕</p> <p><input type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔 〕</p>	○	<p>本人が馴染み親しみをもって入居できるよう段階を踏む手立てを取ることは、入居後の精神面などに係る負担の軽減に繋がるので、本人が見学又は体験をすることが望まれる。面接については複数の職員の視点で多角的な聞き取り、話し合いをすることでより多くの情報を得られるので取組まれたたい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔職員は支援する側、される側といった考え方で対応は行っておらず、利用者ができないことをさりげなく支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔毎日の調理や草引き、花の世話など色々な生活場面でする側・される側の意識はもたず和やかな雰囲気でも過ごしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔野菜の間引きの仕方、お盆の地域の風習など教わる場面が多くある。〕		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔 〕		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔 〕		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔3か月に1回見直している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔変化が見られた場合などに随時見直している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔介護計画の内容によっては1か月の設定もあり、個別に応じた期間設定をしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 〔協力医療機関、専門医から医療処置や助言を受けながら、円滑な日常生活が継続できるよう支援している。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔状況に変化が見られた際には、主治医と家族、職員で話し合いを持ち決めている。これまで事業所での看取りは無いが事業所での対応も可能である。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔通院や送迎、外出なども含め家族と話し合いながら柔軟な対応をしている。なお家族が事業所で宿泊されることもある。〕		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔その都度、本人・家族と話し合い希望に応じ柔軟に対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔家族同伴の際には帰所時に、事業所対応の時には家族に電話連絡をするなど情報を共有している。また受診記録も残している。〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔入所時に重度化に伴う対応について説明し同意書を取り、病態の変化によって家族、医師、看護師を交え話し合っている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。 〔本人、家族の意向を大切に医師と職員が連携し、家族と職員も納得のできる最期を迎えられるよう取り組んでいる。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔排泄の誘導、歯磨き、食事の時など、さりげなく目立たないよう気配りのある対応をしている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔 〕  <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔採用時に個人情報についての研修があり、署名捺印しその後は毎朝の申し送り後折に触れ話し合いをもつなど繰り返し徹底している。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。  〔意思の表現が難しい利用者にも、声かけをし散歩や外気浴をするなど柔軟に支援している。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔食事、入浴、散歩の時間など個々のペースを大切に考え対応している。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔利用者の嗜好を大切に、また食材の下拵え、調理、台拭き、食器洗いなどできることには職員と共に参加している。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔同じ食卓で同じ食事を食べ、さりげなく目配りや声かけをし、和やかに食事を楽しんでいる。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔入浴時間帯を午前、午後用意しているが、夕食後の入浴も可能であるなど希望に合わせて対応する体制が出来ている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりに合わせた入浴支援を行っている。 〔入浴を拒否する利用者については時間をずらし、別の職員が声かけするなどのチームプレーで支援する場合が多い。チェック表には入浴できなかった理由も記録に残すなど次に繋げる対応をしている。〕		



外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔その人の生活歴、家族や利用者を知る方々からの情報、日々のコミュニケーションから役割、楽しみごとを把握するよう努めている。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔米の研ぎ方、酢味噌和えの作り方、野菜の仕分け、山菜の下拵えなど昔ながらの調理法を教わるなど経験を発揮できる場面がある。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔編物の好きな人には新しい毛糸を渡すことで一層意欲が湧くようにしたり、閉じこもりがちの方には小鳥の世話をお願いするなど工夫と配慮のある働きかけと支援をしている。〕		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔馴染みの酒屋、銀行、郵便局、理髪店など必要に応じて職員も一緒に出かけるが本人1人で出かける事も支援している。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔 〕  <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔 〕		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔利用者の歩くコースのパターン、外出の目的、習慣などを把握し対応している。〕  <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いてい 〔近所の方に通報してもらえるなど、協力関係が出来ている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔事業所のみで実施している。運営推進会では話し合ったこともあるが、地域住民の参加を得た訓練には至っていない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常食料・備品を準備している。 〔 〕	○	非常事態の場合、避難誘導は、困難を極めるので、地域住民の協力は不可欠である。運営推進会議での話を具体的に進め、地域住民と日頃から慌てず確実に誘導ができるよう協力体制を整え、実践的な訓練を行うことを望む。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔その日の献立で嫌いな食べ物があるときには代替食や調理法を工夫している。またそのことを記録し嗜好や栄養バランスに細やかな配慮が見られる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔毎週1回栄養士が献立表を作成している。〕	○	食事摂取量はチェックしているが水分摂取量はできていない。排泄状態や血液検査で状態を把握し、何らかの対応をしているが、健康管理のうえで日々の状態を把握することを望む。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔ソファやテーブルをフロアに置き、また金魚鉢、遊具、アルバムなどを備え、狭い空間だが馴染み深さを感じる空間になっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔適度な装飾で落ち着きがあり、家庭的な雰囲気づくりへの工夫と配慮ができている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔壁には紅葉を飾り付けたり、テーブルには季節の花の小鉢を置いている。旬の料理や果物を食膳に置き、匂いや季節感が一杯に漂っている。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔幾つかの居室にはテレビ、筆筒、カレンダー、置時計などがあつたが、ベットと衣装ケースだけという殺風景な居室が目立つ。〕 <input type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔職員のアイデア、工夫が施されていると思われる居室が少ない。〕	○	家族に気長く協力を依頼したり、職員の工夫で、和みを与え親しみや愛着を感じていただける居室作りを期待する。